

地域交通とモビリティプロジェクト

—京丹後市での公共交通体験型イベント「モビログ」の事例—

大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科・野村ゼミ
府政課題分野：地域振興（丹後）
指導責任者：野村実



【なぜ“モビログ”を？】

- 本プロジェクトでは「公共交通の利用文化の醸成」を目標に、さまざまな仕掛けづくりに取り組んでいます。
- フィールドワークでのインタビュー調査や意見交換を経て、実際に行動に移してもらうために「どのような仕掛けが必要か」という気づきを得ました。
- そこで、公共交通に乗りながら楽しく公共交通機関を知ってもらうためにゲームイベント「モビログ」を開催しました。



当日のスケジュール
10:30 京丹後市役所集合
11:00 出発
モビリティロゲイニング
15:10 帰還
16:00 結果発表・表彰式

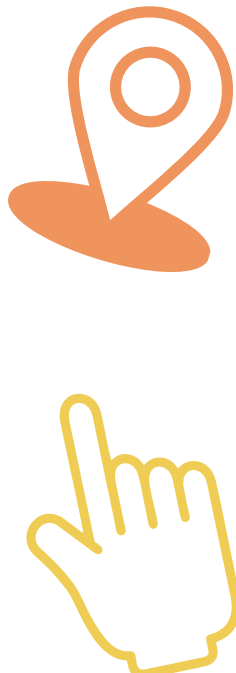
“モビログ”の概要
- 設置された京丹後市内のチェックポイント*1に行き、道標を解きます。 - 多様な移動手段を駆使すると、ボーナスポイントがもらえます。 - 公共交通を使って、まちの魅力を再発見してみませんか？ *学生と一緒にチームになり、頭と体を使って優勝を勝ち取りましょう！ *チェックポイントは当日発表します！

【モビログとは？】

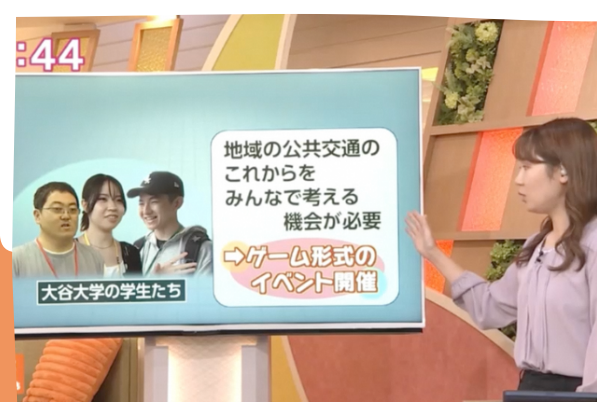
「モビリティ+ロゲイニング=モビログ」とは、本プロジェクトの学生が考案した公共交通体験型のゲームで、多様な交通手段を活用しながら、エリア内に設置されたチェックポイントをできるだけ多くまわり、稼いだポイントを競い合う野外活動です。

【産学連携で準備】

- この企画は、イラストマップを使った地図アプリ事業等を展開する株式会社コギト（京都市）と連携して行いました。
- ミーティングを重ね、ゲームで使用するイラストマップの作成やチェックポイントの設定などの準備をしました。



実際の放送の様子↓



【メディア出演】

- KBS京都「きらきん！」
- NHK京都放送局「京いちにち」
- FM大阪「LOVE FLAP」
- 新聞2局（文化時報・仏教タイムズ）

【今後の展望】

- 最終的には、地元主体でこのようなイベントを開催できるようにしてもらうためのステップアップを考えています。

【当日の様子】

START



10:00 集合・作戦タイム



10:30 公共交通を使ってチェックポイントへ



12:00 地元のレストランでお昼ごはん

GOAL



15:00 表彰式&公共交通に関するワークショップ



14:00 チェックポイントで地元の方とお話し

【活動から得られた成果・学び】

- これまで自家用車を主な移動手段としてきた人々に、ゲームという新しい形で地域交通を体験する機会を提供
- 誰でも気軽に参加できるゲーム形式の体験イベントは、これからの地域交通のことを考えてもらうきっかけづくりとして効果的

